

部門別協議会

幹事部門

カウンセラー・アドバイザー

月山 和男 パストガバナー
 中村 幸吉 パストガバナー
 上野山英樹 情報・規定アドバイザー

ガバナー補佐・委員長

沖殿 正博 IM2組ガバナー補佐
 小西喜代一 IM6組ガバナー補佐
 西尾 幸祐 情報・規定委員長

SAA :

市木栄之助・大川 敏彦

進行 :

津村 寛司



挨拶

(パストガバナー 月山 和男)



私が幹事をやりましたのは33年前のことです。会長は25年前、ガバナーは23年前になります。ロータリーは卒業もなければ定年退職もありません。いつまでも勉強です。また随分と私の時代から変革してきました。私の当時、DLP、CLPやガバナー補佐という制度もありませんでした。クラブ数は47でしたが会員数は3,000名でした。

私の当時とは状況も変わってきていますので、私がお説明する中で間違いがございましたらカウンセラー、アドバイザーの皆様にご訂正して頂けると幸いです。本日はお忙しい中、ロータリーのために時間をとって下さいますと心から感謝申し上げます。

挨拶

(パストガバナー 中村 幸吉)

私が幹事をやりました時、月山パストガバナーの講義を受けました。「クラブの幹事のあり方については、月山パストガバナーに聞け。」と言われたくらい文章化されており、私はそれによって育てられました。

時代の変遷につれて変化があるのは当然ですが、基本的には役職の役目というのは変わるものではありません。事務的な処理は当然、時代の変遷につれて変わりますが、幹事の心得という点では、まず月山パストガバナーのお話に耳を傾けて頂きたい。幹事はいろんな分野のことを知っていなければなりません。次年度のテーマがガバナーの方針も頭の中に入れて頂いて応用して頂きたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

クラブ幹事の心得

(パストガバナー 月山 和男)

まず皆様方の年度のRI会長のお名前をご存知の方、手を挙げて下さい。ガバナーのお名前も当然、覚えておいて下さい。次にRIのテーマ、また村上ガバナーエレクトのテーマも幹事さんは片時も忘れてはいけないと思います。それに沿って各クラブの運営を行って頂きたいと思います。次年度のRI会長は、「ロータリーはトップダウンではなくて、皆様方の1つひとつのクラブの活躍によってロータリーは発展します。」とおっしゃっています。

2回目の幹事をやられる方、拳手お願いします。随分おられますね。以前は他の理事とかは1年交代となっていました。幹事だけは年限が決まられていませんでした。幹事と会長は常にクラブのリーダーシップを担っていくという重大な責務を負っていますから、昔は第1回目のPETSの時にも次期会長・次期幹事セミナーというものを一緒に受けさせられました。第2回目のPETSも同様でした。さらにさかのぼりますと1泊2日でみっちり絞られたことを覚えています。

本日、手続要覧をお持ちの方、手を挙げて下さい。次にクラブの定款・細則をお持ちの方、手を挙げて下さい。次年度、例会場へは手続要覧、定款・細則、幹事要覧は絶えず持って行って下さい。会長はクラブの象徴であって、実務を行うのは幹事です。私はクラブにとっては会長よりも幹事の方が大切な存在だと思っていますので、どうかそのようなつもりで職務を行って下さい。

皆様方のクラブで事務局員がいるところ、手を挙げて下さい。はい、いないクラブはありませんね。私の時代には、事務局員のないクラブや、クラブ事務所のないクラブがありました。そのようなクラブは今ほど煩雑な用件はなかったかもしれませんが、幹事の自宅が事務所で、幹事が全てを行っていました。

これから話を進めますが、それらは全て事務局員任せになっていないか懸念しています。仮に大切な事項を事務局員に任せて、それで失敗して責任問題になった時に、それは全て幹事の責任となりますので、書類等にも必ず目を通して下さい。ですから幹事を1年間やればロータリー歴10年に匹敵します。“ロータリーとは人から依頼されたことは引き受けなければならない”という鉄則があると思います。皆様方もせっかくお引き受けされたわけですから、この1年間ロータリーのために時間を捧げて頂きたいと思います。

クラブ幹事の責務と役割についてですが、(イ) 会員記録を維持する、ということで会員名簿を前年度幹事から引き継がれると思いますので、訂正があれば直して下さい。(ロ) 出席記録と報告、で例会の出席者数を毎月最終例会の後15日までに地区ガバナーに報告しなければなりま

せん。では出席会員とはどういう会員を指すかということですが、例会を用事があるために途中で退出する会員を出席と認めているクラブは手を挙げて下さい。はい、ありがとうございます。本来は例会時間の60パーセント、1時間の例会でしたら40分以上出席していないと出席とはなりません。同じことがメーキャップに来られた方にも言えます。最近は随分と出席の条件が多くなり、例えばクラブの理事会が承認した奉仕活動も認められるようになりました。その条件として少なくとも例会時間の1時間以上でなければ認めるべきではないのかなと、私は思っています。出席率の算定方法はご存知ですか。分母は“出席義務者会員数－出席規定免除会員数－名誉会員”です。分子は“出席した会員＋メーキャップした会員＋出席を認められている会員”です。(ハ) 諸会合の通知、まず理事会ですがその招集は必ず幹事が通知を出すことになっています。またいろんな諸会合の通知を出す必要がありますのでよろしくお願いします。(ニ) 議事録の作成。(ホ) RIに対する報告並びにガバナー事務所に対する報告、でRIに対することで1番必要なことは半期報告です。また一緒に人頭分担金の請求書が来ます。6月末に退会される人もいますので、そのあたりもチェックして下さい。また12月末までに次期の会長、幹事が決まると思っています。RIの公式名簿に記載してもらうために、RIへ報告する必要があります。公式名簿には世界のクラブ名・会長名・幹事名・場所・例会場・例会時間が書かれています。これは必ず幹事に1部、無料で送ってきます。これは会員が外国でのメーキャップする所の相談があった時に活用して頂くものです。別紙で“主要報告書並びに送金先一覧表”をお配りしていますので、会員異動報告、変更届、国際大会信任表証明書等、重要なものがありますのでそれぞれ確認して下さい。皆様方の年度の人頭分担金は24.5ドルを7月と1月に送ることになります。本年度は24ドルです。皆様方の次の年度は25ドルで、それで一旦見直そうということになっています。また3年に1回、規定審議会が行われますが、その開催費用として7月1日に1人当たり1ドルを送ることになっています。したがってこの7月1日には25.5ドルが必要になります。地区資金等のクラブ分担金は、ただ今会長部門で協議して頂いており、承認されなければ徴収出来ません。ロータリー財団への寄付については、種類によって送り先、口座番号、口座人が変わりますので十分ご注意下さい。米山記念奨学会につきましては、任意ですが米山記念館の維持のために1人当たり100円程度の送金をお願いします。

あくまでも幹事は“クラブの要”と言われており、同時にクラブの運命を左右すると言っても過言ではありませんので、そのことは是非、肝に銘じておいて頂きたいと思えます。カレンダーに自分の予定表を作って下さい。皆様方の年度に入るまでには必ずクラブ協議会ないしは新旧合同理事会を開催して頂き、7月からすぐにそれぞれの役割を担えるようにしておいて下さい。



クラブ幹事とは（その魅力とやりがい）

（パストガバナー 中村 幸吉）

次年度のテーマは『ロータリーの未来は、あなたの手の中に』と、ロータリーはクラブの自主性で発展させるものだということに良いテーマだと思います。しかし「そう言っておきながら今年の国際協議会ではテーマ発表の翌日、ビル・ゲイツ財団の1億ドルを強制的に徴収するとは何事だ。」と村上ガバナーエレクトからハガキを頂戴しましたが、今日は若干その矛先が和やかになっておりました。皆様方にあまりキツイことを言ってもまずいという判断かと思いますが、私は席に座っていてイライラしました。もう少し私にくれたハガキのようにキツイことを言って頂いても、良かったのではないかと思います。それはクラブ幹事たるもの、そのような気持ち、反骨精神が非常に大切です。

幹事にはクラブのあらゆる情報が入ってきます。情報の交差点と言われますが、そのことを十分認識して下さい。次に、“でしゃばり”と言われても結構ですから、クラブで起こったあらゆることに首を突っ込んで下さい。また最低、週に2回はクラブ事務所に顔を出して下さい。クラブの会合に出席した時は全て議事のメモを取って下さい。これは必ず役に立ちます。クラブの対外的な折衝もありますが、幹事が表に立たない場合でも必ず関与して下さい。そして手続要覧、幹事要覧は熟読して下さい。クラブ細則は案外目を通さないものです。クラブ特有の決め事が後半に出てきますのでよく読んでおいて下さい。クラブにはいろんな書類がきますので、幹事から本人に手渡して下さい。最後に、私は会長よりは幹事の方が面白いと思いますので、どうか頑張ってください。

クラブ幹事とは（その魅力とやりがい）

（次期情報・規定アドバイザー 上野山 英樹）

私はクラブ幹事を1回、そして地区の代表幹事を1回、本年度はクラブ創立50周年の実行委員会幹事と3つの幹事をさせて頂きました。本当に幹事にはいろんな話が入ってきますから、非常に面白い、やりがいのある役職だと思います。会長には副会長という代役がいますが、幹事にはいません。クラブによっては副幹事がいるところもありますが、役員ではありません。幹事はクラブにとって中心的な存在です。私が皆様方をお願いしたいことは、是非とも健康であって頂いて、そしてクラブと会長を支えて頂きたいと思います。

最近のロータリーについて

（次期情報・規定委員長 西尾 幸祐）

手続要覧をお持ちの方はご覧下さい。第7部には『国際ロータリー定款』、『国際ロータリー細則』、『標準ロータリー・クラブ定款』があります。この3つに関して変更のある場合は、来年の4月に開催される規定審議会で賛否をとって変更することになります。この第7部については、全世界のロータリークラブは絶対に守らなければなりません。例えば出席に関してですが、『ロータリー・クラブ定款 第9条 第5節』について、2007年にまた変更になりましたが、病気などにより理事会で出席免除を認められている会員については、出席率を計算する段階では欠席になります。クラブによっては、そのようにされていないところがあるので守って下さい。出席率は幹事の責任で報告して頂くことになります。2010年の規定審議会で提出される案件については、こちらで整理して皆様案内しますので、アンケートの形で賛否を伺う予定にしています。皆様の年度では実際は変更ないですが、次の年度には変更になります。どこが変更になっ

たか解らないと困りますので、皆様も現在の定款・細則を熟読しておいて下さい。ご質問がある方は質疑応答の時間をとりますのでよろしくお願いします。

質疑応答

クラブの例会変更についてですが、本来決まっている例会日の前後1週間を越えて例会を変更することは出来ませんので、理解しておいて下さい。そのあたりも先ほど言いました手続要覧の第7部に載っていますので必ず目を通しておいて下さい。また基本的に細則の変更は年次総会でなくても例会で出来ますので、そのあたりの判断も幹事の仕事になります。事務局員さんがされている仕事は、本来は幹事が行う仕事です。幹事の仕事があまりにも多いので事務局を使うわけです。ですから他の人が事務局を使うのは、本来はおかしいわけです。幹事に言って、幹事が事務局に指示して行うのが本来の形です。

次年度のロータリー情報・規定委員会の事業計画に“2010年度規定審議会案件の整理検討”というのがあります。私が感じていることですが、RIは現在社会奉仕重視型で“ロータリーは社会奉仕団体”と定義しています。そうなってきましたと、“社会奉仕をするのであれば毎週例会をしなくてもいいのではないか”ということで、来年の規定審議会で“2週間に1回”になるような案件が通る可能性もあります。また地区のIT委員会と協力して、地区のHPにロータリー情報の掲載をしようと思っています。多く質問のある事柄に対してその回答を書こうと考えています。CLPについてですが、最近はあまり聞かないように思います。CLPとはクラブを活性化することだと受け取って頂き、それぞれのクラブでお考え下さい。そしてクラブ細則できっちり定めて頂くことになります。ガバナー補佐制度や地区委員会構成に関して、検討するように村上ガバナーエレクトより依頼がありますので検討していきます。CLPをとられているクラブが、例えば地区協議会で部門別に担当委員会がないようなクラブも当然あるかと思えます。そのような時はガバナー事務所や私まで問い合わせして下さい。当委員会はRI、地区、各クラブがそれぞれ決めていることの情報をやり取りする委員会です。例えば市町村合併によって所在地域の変更があった場合にどうすればよいのか。所在地域はロータリークラブの定款の方になります。定款の変更はRI理事会の承認を得る必要があります。当然、承認はされますがRIに提出する書類があり、それを幹事から提出して頂くことになります。どのような質問でも結構ですので、それに対してお返事させて頂きます。幹事さんのお役に立つ委員会と思って頂ければと思います。

(西尾次期情報・規定委員長)

規定審議会とは何かということをお話していきたいと思います。ロータリーの唯一の立法機関です。これは最初からあったわけではありません。ではその間、大切な決め事はどうしたのかと言いますと、全て国際大会で決議されていきました。1971年に初めて独立した立法機関として規定審議会ができました。RI理事会以上の権限を持つ立法機関です。手続要覧の黄色い紙のページで国際ロータリー定款、国際ロータリー細則、ロータリー財団細則、標準クラブ定款の4つは全て規定審議会の決議を得なければ改正出来ないことになっています。決議23-34をなぜRI理事会は単独で廃棄を決めたのか、ということですが、実は決議という言葉が問題です。先ほど申し上げた4つは全て法として制定されたものです。決議23-34は決議だから、当然RI理事会で変更する権利があるだろうということです。その詳しい話は致しませんが、規定審議会の持つ意味を、皆様方にもご理解を頂ければと思います。(上野山次期情報・規定アドバイザー)

総 評

（沖殿 正博 次期ガバナー補佐）

本日は幹事についてのお話をしっかりと聞いて頂けたものと思います。月山パストガバナーにはロータリーの原理・原則・基本をきっちりと話して下さいまして、大変わかりやすかったと思います。また中村パストガバナーのお話を聞きながら、6年前に私も幹事をさせて頂きましたが今思いますと、もうあと一歩二歩踏み込んだところが足らなかったように感じています。どうか皆様方にはさらに一歩二歩と踏み出して頂いて、会長さんと情報交換して頂きながら務めて頂ければ、スムーズな運営が出来ると思います。

（小西 喜代一 次期ガバナー補佐）

私は6年前に幹事をしましたが、私も事務局員にいろいろ聞きながら進めて行った記憶があります。以前はPETSには会長と幹事が出席していたと聞いて、なるほどそれならば次年度のテーマやキーワードは全部わかると思えました。幹事さんにも資料等は前もって渡されているかと思いますが、おそらく今日、初めて生の言葉で次年度の方針を聞かれたと思います。各クラブによってやり方は違うと思いますが、事務局員に頼りきるのではなくて最低限、手続要覧は見て下さい。もう一度、原点に戻って手続要覧に沿って運営して頂きたいと思います。

（月山和男 パストガバナー）

私も規定審議会の代議員として行かせて頂いたことがあります。日本の代議員は上品でした。席も指定されていません。発展途上国の代議員は非常に団結心が強くて、時には従来の考え方を覆すような意見が出てきます。また開場するとすぐにマイクの近くに集まってその場所を占拠するような感じでした。その時に私は、“ロータリーは昔のロータリーから変わるだろうな”と思えました。案の上、その当時から比べますと随分と変わりました。私と同期の方の中には、今のロータリーには興味がないと言われる方もおります。皆様方のクラブではいかがでしょうか。退会防止委員会がいかに頑張っても、ロータリーの本質を変えることが出来なければ、防ぐのは難しいかもしれません。今度、中村パストガバナーも規定審議会に行かれますが、頑張ってくださいと思います。

たとえ規定審議会で可決されたものであっても、国際大会に再びかけられまして、そこで反対が多ければ採用されないことになっています。先ほども話がありましたが、皆様方の次の年度の幹事さんがクラブの定款と細則を作り直す必要があります。

（中村幸吉 パストガバナー）

私は過去3回、規定審議会に行っています。1回目は何もわからずに行き帰ってきたような次第です。2回目の時には地区を代表する1票の重さを感じていましたので、一通り勉強しました。その時に感じたことは、クラブや地区としての案件を背負って行けば責任感と興味が湧いてくるのではないかと思えました。そして初めて行った時の案件を全て調べ直しました。私は理系の人間ですから統計処理をよくやります。1つの事柄には数学的に集中したところが必ずあります。規定審議会について統計処理で探しますと、決議案で出されたもので決議として通った案件については、その次の規定審議会に制定案として出す確立は80パーセント以上で通っていることに気がつきました。当時、定款・細則を見ますと、辞めることはクラブの自由ですが、合併に

つについては何ら規約がありませんでした。私が調べたところ前年度、クラブの合併を許可するという決議案は通っていましたので、これはしめたと思いました。当時の当地区ではクラブの少人数化が始まっていたと思います。いろいろな対応があると思いますが、一番楽な方法は合併です。これを地区に早速図ってみましたところ案件を作れということになり、上野山さんに作って頂きました。この案件を持って行ったところ、500 数名の内の 80 パーセント位の票を得られました。

また、気が付いたところ、クラブ定款の中に四大奉仕というロータリーの綱領に相当する条文はありませんでした。それを理事が見つかり、一緒になって提案することになりました。それにはいろんな情報を集めて、いろんな方々を説得しました。たまたま私はその年度の代表議員団の世話役でしたので、これを絶対に通さないと決議 23-34 は無になってしまうと思い、この案件を担いで行ったところこれも首尾よく通りました。今度、当地区から 2 件の制定案を出すことにしています。国際ロータリークラブ定款に関係のある条文変更の件です。5 月には全部の案件が決まり、10 月までにはその案件の日本語が我々の手元に届きます。それを各クラブの幹事さん宛てに配布しますので、必ず〇×を付けて頂き我々の方で集計し、それを背景にして賛否を投票する予定にしています。



部門別協議会

クラブ奉仕部門

(会員増強)

カウンセラー・アドバイザー

成川 守彦 パストガバナー
小林 信夫 アドバイザー

ガバナー補佐・委員長

櫻本 主税 IM7組ガバナー補佐
倉 保雄 会員増強(退会防止)委員長

SAA:

木村 勝次・瀬戸 英男

進行:

小林 信夫 柴田 隆至

司会:



挨拶

(パストガバナー 成川 守彦)

皆さん、なぜ地区協議会に出席するのですか？地区協議会の目的は次に掲げた各項のために、ロータリークラブ指導者に必要とされる技術、知識および動機付け能力を開発することです。＊会員の基盤を保持、増強する。＊地域社会および他国の地域社会のニーズを取り上げた成果に溢れるプロジェクトを実施する。＊プログラムへの参加と資金寄付の両面を通じてロータリー財団を支援する。＊クラブの枠を超えて奉仕できる指導者を育成する。

地区協議会への参加者は、クラブ会長エレクト、次ロータリー年度に指導的役割を果たすように会長エレクトから任命されたロータリークラブ会員です。そして参加者の本日の責務は、A：自由にアイデアを発表すること、B：いずれ役に立つと思われる事項をメモすること、C：協議会の終了まで席を立たないこと、D：委員会委員長に協議会で得た知識を伝えること、E：例会で地区協議会での体験をクラブ会員に発表すること、F：クラブ会報編集者に地区協議会に関する情報を提供すること、です。

皆様方の就任前の責務ですが、①委員会の手引きを読む、②地区協議会に出席する、③委員会の目的に関する情報を含むクラブの細則に目を通す、④職業的技能や個人的な関心に基づいて委

員会委員を人選して集め次年度に向けて準備を整えるよう会長エレクトと協力する、⑤「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」を活用し会長エレクトと共にクラブの長期目標と年次目標を見直し策定する、⑥委員会が年次目標を達成するための行動計画を作成する、以上です。

次に就任期間中の責務は、①定期的に委員会会合や活動を計画し実施する、②各委員が引き受けた責務が責任を持って果たされるよう確認する、③委員会の活動や進展について、クラブ会長・理事会・クラブ全体に報告する、以上よろしくお願いします。

会員増強の支援源ですが、①職業分類調査、②クラブ会報、③クラブ概要、④ガバナー月信、⑤「新会員の推薦はいかにするか」、⑥「新会員のためのオリエンテーション」、⑦「ロータリーの基本知識」、⑧「ロータリーのいろは」、⑨「ロータリーとは」、といったものがあります。どうぞよろしくお願い致します。

挨拶

(次期会員増強アドバイザー 小林 信夫)

いよいよ7月より村上年度(2009~2010)がスタートされようと致しております。

昨秋よりの米国サブプライムローン問題に端を発した世界的金融不安が世界各国に飛び火し急激で大幅な景気の落ち込みを来しております。皆様の地域、社会の方はいかがですか。

不確実性の高い時代ではありますが、新しい業種、あまり景気動向に影響のない業種、女性の会員の勧誘など積極的に会員獲得を進め、ロータリークラブの活性化を進めてまいります。現状報告いたします。(2009年4月末)

1. 日本のロータリークラブ(第1~第4ゾーン)

クラブ数 2,318クラブ

会員数 95,095名 内女性 3,934名

1クラブ平均 41名

1. 国際ロータリー第2640地区

クラブ数 73クラブ

会員数 2,342名 内女性 138名

1クラブ平均 32名

内訳

19名以下 … 15クラブ 20名台 …… 25クラブ

30名台 …… 14クラブ 40名台 …… 8クラブ

50名台 …… 6クラブ 60名台 …… 1クラブ(海南東RC)

70名台 …… 2クラブ(堺RC・和歌山RC)

80名台 …… 1クラブ(田辺RC) 90名台 …… 1クラブ(和歌山南RC)

1. 会員の推移

2000年6月末 3,497名 内女性 123名

2009年6月末 2,341名 内女性 138名

約10年間で、1,155名減少をきたしております。

尚、女性会員は15名増加であります。

1. 退会（脱会）防止に関しましては

2008年11月25日付にて、藤井寺ロータリークラブ(会員12名)が脱会なされました。

主な原因は

- ① 地元会員と他所により来た会員の対立
- ② 年齢的な対立
- ③ その他・・・

(元会員より聞き取り)

2009年6月末にて、堺泉北ロータリークラブ(会員10名)が脱会なされます。

原因は

- ① 会員数が少なくなり休会者が多い
- ② 年齢が70歳以上
- ③ 長年に渡り会員増強がなかった

(会長より聞き取り)

全国会員増強セミナーのセッションにおいて主な発言の参考例です。

1. ロータリークラブのブランドアップ、品格を重んじる

1. 死亡、転勤、退会を考えると、クラブ存続、ロータリーの発展には会員増強が必須条件である

1. 例会日を少なくしたり、1業種1名の大原則を緩める等規定緩和が逆効果になっている

1. 安易な言葉で入会を勧めるのではなくロータリーの真の良さを伝える

1. オリエンテーションが大事

1. ロータリーは人間形成のできる所である

1. ロータリーは一般社会でなされている奉仕活動ではなく、ロータリーらしい独自の奉仕活動をすべきである

その他、多数の意見がありました。

次年度活動方針

(次期会員増強委員長 倉 保雄)

ロータリークラブは倫理運動と言われますが、基本は個人になると思います。ですから個人というものは大事で、ロータリーが個人のより高い道德の獲得にあるとすれば、友を求めるのは当然です。会員増強は1番の基本で大切なことだと考えます。ロータリーも組織ですから、ついつい人数が減ると運営的な話になりますが、そのような概念で増強するという話になりますと本来ロータリーの精神面からは少し離れるのではないかと思います。増強の考えの中に、友を求めるという気持ちを持って、そして親睦を深めていくことで退会防止にも繋がるはずで、ぜひ各クラブにおいて、会員増強のあり方について協議して考えてみて下さい。そして入会希望者に対しては、十分にロータリーの目的等を理解して頂けるように時間をかけてお話して下さい。また入会后、さほどアプローチもないような状況では楽しくないと思いますし、退会されると思います。ですから出来るだけ親しくお付き合いし欲しいと考えています。そして女性にも入会を積極的に勧めて頂き、女性会員のおられるクラブでは比率を高めて下さい。私よりも皆様の方が日頃よりご努力されていることと存じますが、是非とも次期は、今期に比べて各クラブとも実増1名の達成に向けてご協力をお願い致します。

ワークショップ

(パストガバナー 成川 守彦)

＜成川パストガバナー＞

ワークショップ (Workshop) ですが、皆様方はあまり慣れていないと思います。“Shop”とは製品を作っており、“Store”とは品物を売っているだけです。ワークショップとは作業所、工作所のこと、メンバー全員が参加して作品を作り出すことです。そのために目標を決めて、その達成のために参加者全員が有効な議論を行い、一定時間内にある成果を出すという手順で行います。全ての参加者の知識と経験に、リーダーの経験的なアドバイスをプラスして展開していきます。効果的な目標は①全員で決定したものの、②測定可能でありこと、③取り組み甲斐があること、④達成可能であること、⑤時間が定められていること、です。

73クラブ中70クラブの皆様方からアンケートを頂きました。クラブ会員数別に分類して1番多いのは21名～30名が23クラブです。次に11名～20名が17クラブ、31名～40名が13クラブとなっています。男女会員の比率は、女性会員5.6パーセントです。会員平均年齢は高い順に堺西・堺南・有田・有田南・堺で、低い順では有田2000・御坊東・藤井寺しゅら・太子・岩出となっています。会員の在籍年数で1番多いのは5～10年で、約半分の方がそうです。続いて1～3年で26パーセント、3～5年の方は17パーセントで、ほとんどの方は10年以内ということになります。

アンケートを基に、皆さんのクラブの現在の会員状況について、どのように評価されているかご意見を頂戴したいと思います。まず昨年度6月末と現在との差が1番大きいのは-6で堺西RCさんです。-5のクラブは有田2000RC・和泉南RC・貝塚RCさんとなっています。

＜堺西RC＞

当クラブはお歳を召した会員がとて多いクラブです。昨今の経済状況もあり、比較的年齢の若い方が昨年4名退会されました。

＜有田2000RC＞

退会される方は60歳以上の方が多く、60歳を過ぎると自由になりたいというお考えのようです。会長経験者は8名中3名が、幹事経験者は8名中2名が退会されています。

＜和泉南RC＞

新しく入会された会員さんの慰留を続けてきましたが、出席率も悪いために、出席率向上のためにも長らく休まれている会員さんを切らせて頂きました。

＜貝塚RC＞

-5名中2名は、歩行困難で皆さんに迷惑をかけるということなどの身体的な理由で退会されました。先日30歳代前半の女性会員が入会され頑張っています。

＜成川パストガバナー＞

次に5年前の6月末と現在との差ですが、-23名が和歌山北RCさん、岸和田RCさんが-19名、貝塚RCさん、粉河RCさんが-16名、有田南RCさんが-13名となっています。

＜和歌山北RC＞

5年前は70名でしたが現在47名です。昨年から2名減りましたが、1人は弁護士で日弁連副会長に就任されるということで、ほとんど東京での生活になりますので就任中だけ退会されています。もう1人の方は健康上の理由で退会されましたが、健康になれば再入会して頂くことになっています。したがって将来的には心配していません。

<岸和田RC>

以前は120数名おりましたが、現在は50名弱となっています。当クラブは古いクラブで、高齢化が進んでいます。また金融・保険関係の会社の支店長さんも入られていましたが、会社の方針で辞められました。いろんな方策を試みましたが、なかなか入会するまでには至っておりません。

<粉河RC>

あることがあって、若い会員が退会されました。次期は2～3名を増強したいと考えています。

<有田南RC>

13名の退会者のうち、半数ほどはお亡くなりになりました。残りは比較的若い方が退会されました。

<成川パストガバナー>

クラブの会員増強において、成果が上がっている面と難しい面についてご意見を頂戴したいと思えます。

<御坊RC>

私は女性会員ですが、協力を勧められて入会させて頂きました。大変温かく迎えられてその中で勉強させて頂いています。現況に合った会員増強の方策を考えていかなければ、今後に結びついていけないと思えます。

<岸和田東RC>

例会や親睦活動を充実させて退会防止にも努めています。昨年度もいくつかのグループに分けて、そのグループ毎に候補者を挙げて皆で協力し増強に努力していますが、なかなか難しいのが現実です。ロータリークラブの活動や魅力等をしっかりと広報することも重要かと考えますので、地区でもよろしくお願ひします。

<高師浜RC>

ある時、開き直って“去る者は去れ”というところまでいきましたが、その後はどういう訳か細々ながら現状を維持しています。

<和歌山東RC>

地域にはいろいろな団体があって、候補となる方はそういった団体から既にお誘いがあると思えます。昨今の経済状況もあって年会費の高いものは敬遠されますし、また団体のステータスが低下すると切られる原因になると思えます。当クラブではJCの現役会員やOBに入会して頂いて成果は上がっていますが、今後はかなり厳しいかと思われれます。

<和歌山城南RC>

古い会員さんがロータリーに熱心すぎるために新入会員がついていけない、といったところを感じる場合があります。台湾には日本語だけを使っているクラブがあります。また食事も希望者のみにしていますから、経費も安くなると思えます。英語だけを使うクラブを設立しても良いのではないのでしょうか。

<堺フェニックスRC>

当クラブでこの2年間増えているメンバーは、クラブの行事に参加してくれた方です。特にタイのWCSの事業に同行された方を、誘って入会して頂きました。

<河内長野RC>

当ロータリークラブは毎年違った事業を行っていますので、勧誘の時、ロータリークラブの説明をやりにくいことがあります。ガバナーや地区から、“良い事業は継続するように”という指導をして頂ければ一般市民には理解して頂き、また候補者にも説明しやすいかと思えます。

クラブで活用し成果のあった方策の中で、次期会長と分かち合いたいと思われるものについて、お聞きしたいと思えます。

<泉大津RC>

次年度の会長の方針で会員増強に関連するものとしては、会員になって頂けるような方を例会に招待して、ロータリーをPRしようということになっています。

<岸和田北RC>

会員増強について会長とよく話し合いをして、まず会長が先頭に立つて行う必要があると思えます。

<堺泉ヶ丘RC>

ロータリー歴的に中間の方が多く退会しましたので、会長経験者と入会歴の浅い方ばかりになってきています。したがってあまり経験のない方が幹事や会長をしなくてはならない状況です。クラブ全体で今一度ロータリーについて勉強し、また新入会員さんにも教育していきたいと思えます。

<堺清陵RC>

今年度、現役会員が2名亡くなって、女性会員が3名中2名が退会されました。創立20周年の時に退会された方や物故会員の奥様を招待したり、また2世の方を勧誘して増強に務めています。

<成川パストガバナー>

新入会員のための入会式をどのように行っているかですが、①紹介（推薦者）、②贈呈（徽章・会員証・手続要覧・クラブ概況・ロータリー綱領・「四つのテスト」・職業宣言・花束）③自己紹介、などです。また夫人同伴や歓迎会を行っているクラブも多くあります。

新会員のための指導顧問を採用しているクラブは37パーセントです。主に推薦者・R情報委員長・会員増強委員長・パスト会長・パスト幹事・四大奉仕委員長などに任せている場合が多いと思えます。

例会プログラムですが、クラブが現在実施しているプロジェクトや活動と関連づけると効果的です。また年間予定表を効果的に使い、最新のロータリー情報を会員に伝えるプログラムを含めて下さい。時間通りに開始し、終了することも重要ですし、予備の計画を準備しておくことも必要です。

何がロータリアンを意欲的にするかということですが、“他のロータリアンとの親睦活動”、“地元や世界社会への奉仕活動”、“他の専門職業人とのネットワーク作り”、“仲間や地域社会から努力を認められること”などが挙げられます。

ロータリアンであることの意義について、二宮尊徳先生は「あらゆる荒蕪は、人間の心の荒蕪から起こる。」、心を荒れ放題にしないためには心に田んぼ、つまり“心田”を耕さなければならない、とおっしゃっています。ロータリーという人生道場で“心田”を耕し、修業することにより、自分が人間的に成長し、より志の高い人間になると思えます。

『本当に裕福な人とはなにか』、知りたいのならば、どれだけのお金を持っているのかではな

く、どれだけの友人を持っているのかを考えるべきです。この定義によればロータリアンは世界中で最も裕福な人々だと思えます。32,000のRCに所属する120万人の友人が世界中に存在していることになります。ロータリーの良さを知らないで退会してしまうのは本当に残念です。どうか皆様方のご尽力をよろしくお願い致します。

ではこれから、8つのグループに分かれていますので、事例研究について話をしてまとめて頂いて、後ほどグループ毎に発表して下さい。

【会員増強・退会防止委員会の事例研究】

サン・ビレッジ・ロータリー・クラブは、人口40,000人の町に所在している。サン・ビレッジでは産業や商業が経済の中核をなしており、周りは農場に囲まれている。サン・ビレッジには、同町と近隣地域のための二つの高校と小さなコミュニティ・カレッジがある。近年、いくつかの大企業が事務所を構えたため、若い社会人が地域に集まってくるようになった。

3年前、同クラブには47名の会員がいた。その後、会員の2名が死去し、他にも6名がクラブを退会した。クラブに5名の新会員が加わったものの、そのうちの2名が退会した。現在の会員数は、42名である。会員の平均年齢は62歳で、その大半は15年以上の会員歴を持つ。多くの会員はクラブの業績と奉仕活動を誇りに感じているが、同時に、会員数の減少が今後も続き、サン・ビレッジの地域社会へ十分に奉仕できなくなるのではないかと懸念している。

『このクラブの強みと弱みは何でしょうか？』

<2番テーブル>

- ・新事務所の増大が長所で、今後企業が増えてくると思えます。短所はもともと古い会員の高齢化です。
- ・このクラブの長所は、会員がクラブの業績と奉仕活動を誇りに感じているということだと思えます。
- ・4万人の人口に対してクラブが1つしかないのも長所だと思えます。短所は会員への推薦が少ないことだと思えます。

『このクラブにとって入会后3年以内の新会員が退会するのと、古くからの会員が退会するのではどちらが大きな問題になっていますか？』

- ・会員の増強は若い人を入れていくことが重要だと思えます。

『クラブは地域社会で新会員となる人材をどのように探せばよいですか？』

<6番テーブル>

- ・新しい企業が多く出来てきているということで、増強しやすい環境にあると思えます。特に広報に力を入れてPRすればよいと思えます。

『クラブの会員の退会防止策を検討し、他クラブで成功した方策について学ぶには誰と協力すればよいですか？』

<7番テーブル>

- ・楽しくなければクラブではないということで、例えばお酒を飲みながらざっくばらんに話をする機会があればよいと思えます。またいろんな同好会を作って親睦を図れば良いと考えます。協力するのはパストガバナー、ガバナー補佐、増強委員長、アドバイザーなどです。

『クラブはどのようにすれば新会員を引き付けることができますか？』

- ・ 奉仕活動は重要だと思えます。

『クラブのプロジェクトや活動に関する基本的な情報をどのように社会に提供することができますか？』

<1番テーブル>

- ・ 中学校に職業体験の講演会を開いて、その時にロータリーについての魅力的な話をする。また交換留学生のご両親や回りの方々をお呼びして例会で卓話をして頂いたり、その方々にアプローチしてはどうかと考えます。

<成川パストガバナー>

最近ではRIにおけるロータリーの方向が大きく変わってきました。RIでは奉仕団体とはっきり言っていますが、日本ではそうではありません。先ほども言いましたが“人生の道場”、“職業倫理を大切にすること”ということで、そこに隔たりがあります。ロータリーに入会して多くの皆さんと知り合い、経験することで勉強し、人間的にも成長することがロータリーであると思えます。

総 評

(樫本 主税 次期ガバナー補佐)

本日は楽しく、また実り多い時間だったと思えます。現状の増強の難しさも拝聴させて頂きましたが、明るい参考になるような事例もありました。増強委員長をされる方は、経験豊富な方が多いのではと思えますので、次年度に向けていろいろ構想を練っていることと存じます。本日の協議会を参考にして頂き、皆様方のご活躍を心から期待しております。



部門別協議会

クラブ奉仕部門

(雑誌広報・IT)

カウンセラー・アドバイザー

平岡正已 パストガバナー
寺下 卓 アドバイザー

ガバナー補佐・委員長

川村 克人 IM2組ガバナー補佐
川村真吾 雑誌・広報委員長
大村 充 IT委員長

SAA:

笹野 吉信・木下 幾雄

進行:

司会:

寺下 卓 廣本 喜亮



挨拶

(パストガバナー 平岡 正已)

本日は限られた時間ですが、実りのある協議会にして頂きたいと思います。雑誌・広報、ITはクラブ奉仕部門になりますが、新しい手続要覧では広報部門は非常に重視されています。その意味においても本日は独立して部門を開催されたことと思います。広報はまずクラブから外に向けて、多くの方々にロータリーの活動を知って頂くことは非常に大切です。それにはクラブでの活動を充実していかなければなりません。クラブ内を活性化させるという意味において、広報は非常に大事だと考えます。皆様方にはご苦勞もおかけすると思いますが重責を担っているということを感じて頂くと同時に、会長さんは皆さんを信頼し重要なポストをお願いしたと思いますので、どうか頑張ってください。

挨拶

(次期ITアドバイザー 寺下 卓)

雑誌・広報委員会とIT委員会は過去、非常に密接に連携しながら活動してきました。本年度、サンケイ関西に連載されました新聞、ラジオ放送での記録についても、IT委員会と連携しています。次年度につきましても、“ロータリーの友”や各クラブの活動紹介につきましても連携を図りながら実施する予定です。ITに関しましては外向き内向きの両面で、ホームページをより多くの方に活用して頂きたいと思えます。また本年度から地区のデータベース化にも取り組んでいます。各クラブへのIT支援につきましてもご支援させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

次年度活動方針

(次期雑誌・広報委員長 河合真吾)

次期、雑誌・広報委員を仰せつかりました、河合です。7月より、1年間よろしく願いいたします。次期の委員会としての活動計画として、本年閑空RCが発案され、我々地区の委員会もご協力させていただいた「ロータリー写真展・夢をかたちに」の展示写真を広く活用させていただこうと考えています。この写真については、今期の地区大会でも会議場前に展示されましたので、ご存じの方もいらっしゃると思えます。

本日、皆様に見ていただくために2点を選んで持ってきました。他にも非常に素晴らしい出来栄の写真が22点あり、本日持ってきたものをあわせると24点になります。この写真は、ロータリーの活動内容やそれに携わる方々の表情がわかりやすく表現されており、ロータリーの活動を知っていただくには最適なものとなりました。そこで、この写真の展示に関して、各クラブの皆様のご協力を賜りたいと考えています。例えば、周年事業であるとか会場を使用するの奉仕プロジェクトの際に会場の一角を提供いただき写真展を開催したいと考えております。これは、のちほどの意見交換の場でも皆様へお聞きすることになっておりますので、何卒ご協力のほど、よろしくお願い致します。

その他の活動計画については、「友」誌の購読推進であるとか、地区内クラブの活動紹介であるとかを活動計画を記載しておりますが、特に4の「クラブ雑誌・広報委員長との連携強化」について、お話しをさせていただきます。

私たち、地区委員会の役割・責務は上記の「基本姿勢」にも記載してあるとおり、クラブよりもたらされた情報を内外ともに広く発信し、ロータリーとは何か、ロータリーが何をしているかを知ってもらいロータリーの存在感を高めることです。それには、まず各クラブから情報をいただくことが前提となります。

そして、ここにご出席の皆様はクラブ雑誌・広報またはIT委員長として私たち地区委員会とのパイプ役になっていただきたいと考えています。基本的には、地区内73クラブ全部が年1回は、何らかの奉仕プロジェクトを行っていると思えます。そして、成し得たプロジェクトを広く知ってもらうため、また理解していただくために広報活動は、ロータリーとして必要不可欠だと思っています。

例えば、クラブで1つの奉仕プロジェクトが成功した場合そこで「良かったな」とか「成功したな」という達成感を持った時点で終わってないでしょうか？そこで、皆様をお願いします。この成し得た活動を広く広報していただきたいと思えます。そして、各委員長さんによってはPCが苦手であるとか、今回の活動を「ロータリーの友」に投稿したいがよくわからない等の理由で

そこでおやめになっているケースも少なくないと思います。そんな時には、お気軽に私たち地区委員会にご連絡を下さい。どんなことでも構いません。今回、クラブでこのような奉仕プロジェクトを行うが、その後地区ホームページに載せたいがどのようにしたらいいであるとか、「ロータリーの友」に投稿したいが等、何でもお気軽に連絡を下さい。私たち、雑誌・広報地区委員会は広報という分野においてクラブの皆様のサポートをするための責務を担っております。その責務を果たすためには、まずクラブの皆様から情報をいただく必要があります。寄せられた情報をここにおられる委員長様とともに広報という場で色づけしていきたいと考えています。

最後に昨日、今期の「ロータリーの友」委員の山口様より4月に行いました。「友」誌についてのアンケート結果のご連絡がありました。集計結果は、後日皆様に書面にしてお渡ししたいと思いますが、一部寄せられたご意見を紹介します。「無駄である」、「読者は1%」「友誌の購読は、ロータリアンとしての義務とは今まで知らなかった」等、「友」誌に関しての後ろ向きなご意見もございました。皆様もご存じのとおり、ロータリーの友の購読は、会費の納入、出席の義務とともにロータリアンの3大義務の1つとして数えられています。

私たちの役割は、たとえそのようなご意見をいただいても様々な方法を講じながら現状を打破していくことだと思えます。本来なすべき役割をいかに行き、それを活性化していくか？そして、合わせて熟成させていくかという意識を持ち続け、7月より1年間皆様とご一緒に悩みまたは喜び、そして楽しみながら広報活動に取り組んでいきたいと思っています。よろしく願いいたします。



次年度活動方針

(次期 I T 委員長 大村 充)

I T 委員会の委員は基本的には各 I M に 1 名いますので、何かありましたらご近所の委員にご相談下さい。

当委員会の大きな仕事の 1 つにホームページの更なる整備があります。2008-2009 年度の当地区のホームページは、ガバナーメッセージ・月信の訴求力向上を第 1 にリニューアルしました。今期も引き続き、整備を行っていきます。また「フレッシュのための Q & A」ページの設置も考えています。初めてロータリーに触れた方やロータリーに入会しようという方のために、また増強の時に“どのようなことを説明すればよいのか？”という場合にホームページで何か出来ないか、と考えました。情報規定委員会さんに話をもっていまして、簡単なところから取り組んでいます。6 月中頃にまず最初のをホームページに載せますので見て頂いて、ご意見を頂戴し、修正しながら良いものにして継続していきたいと思います。

次に、現在、ガバナー事務所には非常にたくさんの紙媒体による地区のデータがあります。これを検索可能なデータとするべく、電子ファイル化を進めたいと考えています。当地区 G S E 委員会で和歌山大学システム工学部の中川教授の協力を仰ぎまして、同学部の学生に春休み中、アルバイトで 10 日間ほど試験的に作業をして頂きました。今後も夏休みを利用して協力して頂こうと思っています。OCR と言いまして、データとして取り込んで、何かのキーワードで検索出来るようにしたいと思います。

またクラブの I T 化支援も行います。2 年前までは地区を 4 つに分けまして、各クラブの事務局に集まって頂き研修を行っていました。しかしこれには非常に大変な労力を要しました。ですから今後、ご要望のあるクラブへ現在の各クラブの実例や地区 I T 委員会の情報をお持ちして、卓話などの形でお伺いし支援させて頂きたいと思います。

我々 I T 委員会はホームページに掲載するにしても、その情報がなければ掲載することが出来ません。ですから各クラブで何か事業や行事をされた時には、写真と文章を頂戴出来れば非常に助かりますので、どうかご協力をよろしくお願い致します。

質疑・応答

(次期雑誌・広報委員長 河合 真吾)

『「ロータリーの友」の購読率向上を図るためにどのようにすれば良いか』について、歴代のクラブや地区の雑誌・広報委員長がいろんな試みをされてきましたが、なかなか購読率が上がったという実感が見受けられないように思います。来期は今までと違ったことにトライしたいと考えています。そこで皆さんにもご意見を頂戴したいと思います。

Q：購読率とは購読している率、もしくは雑誌を読んでいる率のどちらのことをおっしゃっているのでしょうか？（関西国際空港 R C）

A：読んでいるかどうか、ということです。（河合次期雑誌・広報委員長）

Q：例会時に雑誌委員長が自分なりにピックアップしたことを、数分でも紹介してはどうでしょうか。また持ち歩いてもらって、「電車の中とか時間のある時に読んで下さい」といった提案をされるのも良いかと思えます。（関西国際空港 R C）

A：「ロータリーの友」については各クラブの第1例会でご紹介頂いています。地区の友の委員さんから月末までにホームページに“読みどころ”ということで載せていますので、是非ご活用下さい。自分のクラブの記事が掲載されれば、1番興味を持って見て頂けると思いますので、「友」への投稿の方法などもお問合せ下さい。(河合次期雑誌・広報委員長)

「ロータリーの友」をお宅のどこでも良いですから、順番にきっちりと並べて置いて下さい。これは立派なロータリー情報です。各活動月間についても必ず特集が組んでありますので、例えば何か執筆しなければならない時があれば、参考にすることが出来ます。まず形からでも結構です、お勧め致します。(平岡パストガバナー)

<富田林RC>

今後ますます情報化社会となるにつれて「友」は重要な資産だと思います。しかしなかなか興味を持って頂いていないように感じます。次年度は一層努力したいと思います。

<羽曳野RC>

以前に公共施設や銀行等をお願いして「友」を置かせて頂きました。それを再度行おうと考えています。

<海南東RC 寺下次期ITアドバイザー>

海南駅構内にロータリーの図書文庫を設けて頂いており、そこに「友」や読み終えた本なども含めて置いて頂いています。

<和歌山南RC>

当クラブでは第2週目の例会で3～5分間ですが、「友」の記事を紹介しています。出来れば「友」に投稿したり、また地区に関係のある記事が多く載れば、興味を持って頂けると思います。

<岸和田北RC>

昨年11月に“友愛の広場”に、私のケーブタウンのロータリークラブでメーキャップした時の投稿が採用されました。私共のクラブでは第1例会で、「友」に関して記憶に残ったことや感銘を受けたことについての3分間スピーチを順番で行っています。先日、私に順番が回ってきて、**「11月掲載された私の記事を知っていますか？」**と尋ねたところ、半分以上の方は知りませんでした。何か良い方法があれば、お教え頂きたいと思います。

熱心な方は隅から隅まで読まれていて、興味のない方は例会場で受け取るだけといった状況かと思えます。「友」のいろいろなコーナーに投稿して頂くとかかれて、少しでも皆さんが興味を持たれるような活動をお願い致します。

またロータリーの写真展も計画しています。例えば周年事業や会場を使用して奉仕活動をされる場合に、その会場の一角をお借りしてロータリー活動の写真の展示をさせて頂きたいと考えていますので、ご協力よろしくお願い致します。

<大村 充 次期IT委員長>

各クラブで地区のIT委員会に具体的に支援して欲しいようなことや要望がありましたら、お聞かせ頂きたいと思います。

<堺北RC>

地区のホームページのマンスリーレターについてですが、目録から直接最後のページにでもいくことが出来るようにして頂ければありがたいです。

事務局のIT研修についてですが、前年度は皆様方からご要望はありませんでしたので開催しませんでした。そうしたところ、皆様からの活動の報告などの情報は減りました。IT研修は多大な労力や経費も必要ですので悩んでいます。

当クラブの約25パーセントの会員だけしか、インターネットはやっていません。まずパソコンの使う側に立っての支援も行って頂ければと思います。

<有田RC>

当地区のホームページなどITは非常に高いレベルだと思います。しかしレベルが上がれば上がるほど、各クラブの雑誌・広報委員会とのギャップが広がってきているようにも感じます。出来ればまた研修会も開催して頂きたいと思います。

<堺東RC>

当クラブでは最初に業者に頼んで、また会員も参画して立ち上げたホームページを持っています。週報については会員以外の配布はペーパーをやめてネット上で流しています。若い方はネットを十分に活用していますから、ロータリーの情報を発信し、若い方の入会に際してもメリットがあると思います。

ドイツにロータリアンの友達がありますが、彼のクラブの入会動機の3~4割はインターネット経由です。また私のクラブでは8割の会員がホームページを見るようになりました。見方さえ教えてあげると、利用して頂けると思います。使って頂き易いものを作るように心がけたいと思います。

<大森次期IT委員>

事務局員さんが新しく替わられたクラブは当委員会まで連絡を下さい。地区とクラブとは現在はインターネットで繋がっています。何でも結構ですので、当委員会をどうぞ活用して下さい。また活動の記事や写真がありましたら送って下さい。それがホームページに載れば、それを宣伝して下さい。